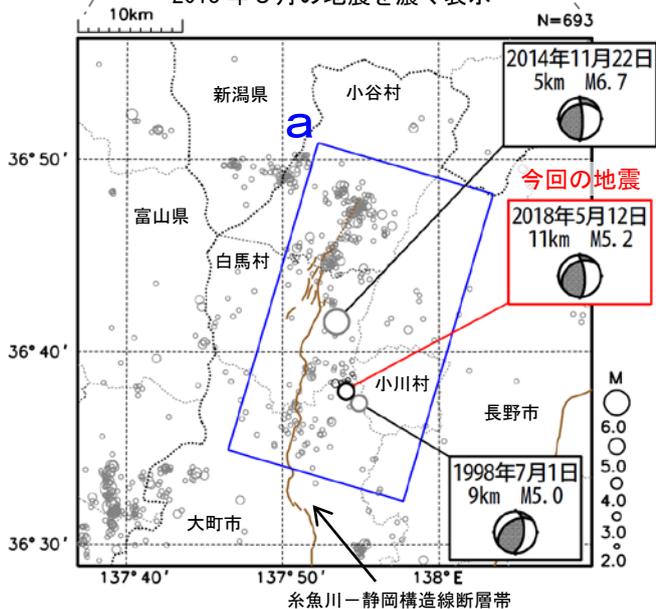


# 5月12日 長野県北部の地震



震央分布図  
(1997年10月1日～2018年5月31日、  
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$ )  
2018年5月の地震を濃く表示



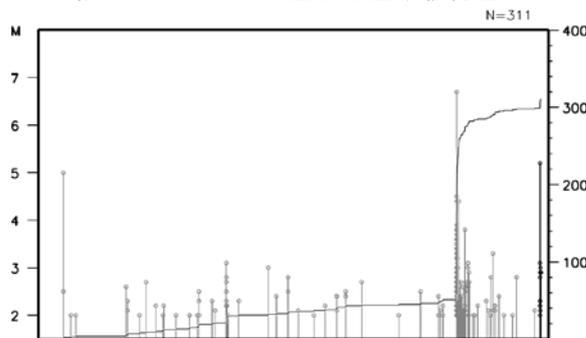
図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2018年5月12日10時29分に長野県北部の深さ11kmでM5.2の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

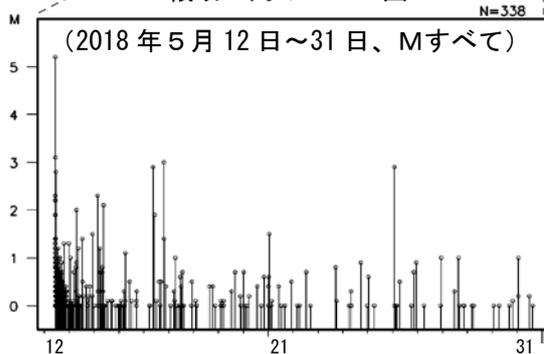
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、1998年7月1日にM5.0の地震(最大震度4)の地震が発生している。また、2014年11月22日にM6.7の地震(最大震度6弱)が発生し、負傷者46人、住家全壊77棟などの被害が生じた(被害は、総務省消防庁による)。この地震は、神城断層(糸魚川-静岡構造線断層帯の構成断層のひとつ)の北部で発生した(「糸魚川-静岡構造線断層帯の長期評価(第二版)」による)。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近(領域b)では、1986年12月30日にM5.9の地震(最大震度4)が発生している。また、領域bの周辺で1965年から発生した「松代群発地震」では、負傷者15人、住宅全壊10棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

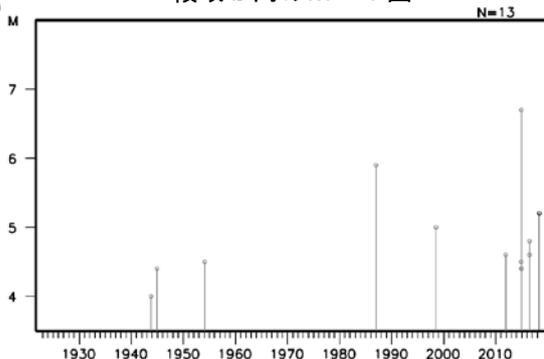
領域a内のM-T図及び回数積算図



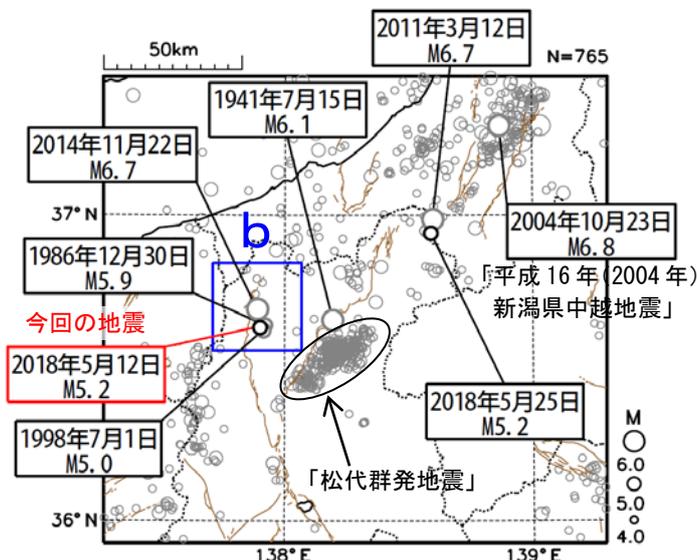
領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



震央分布図  
(1923年1月1日～2018年5月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$ )  
2018年5月の地震を濃く表示

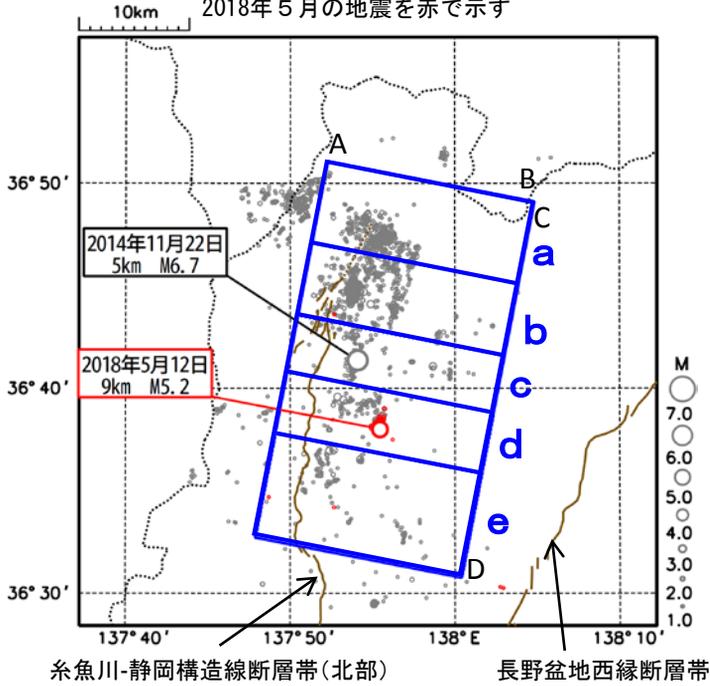


図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

# 5月12日 長野県北部の地震 (2014年11月22日以降のDD法※による再決定震源分布)

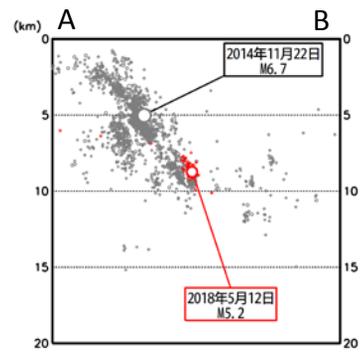
## 震央分布図

(2014年11月22日～2018年5月31日、  
深さ0～20km、M $\geq$ 1.0)  
2018年5月の地震を赤で示す

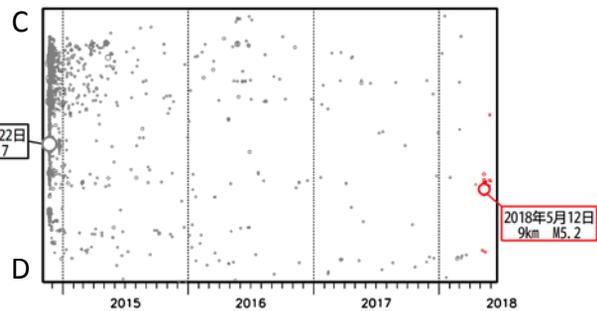


震央分布図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層の地表トレースを示す。

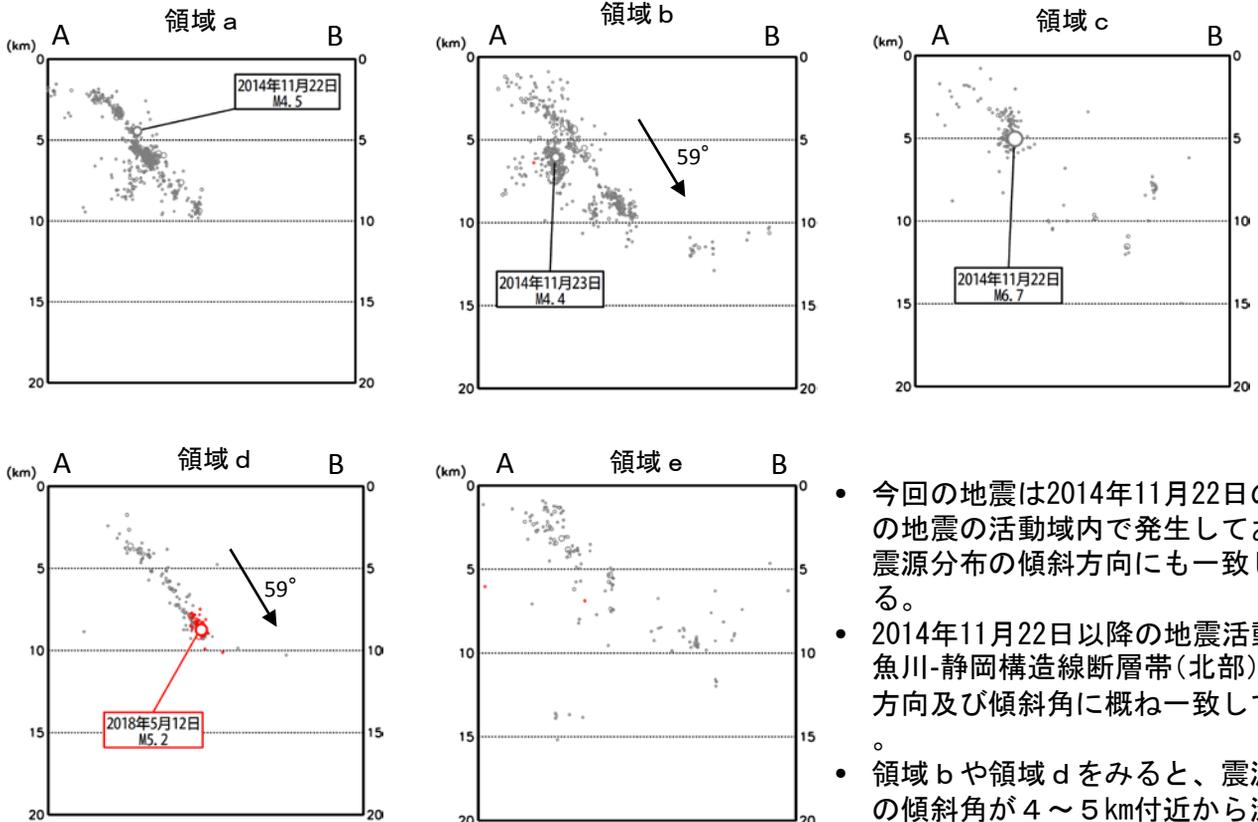
## 左図矩形内全域断面図 (A-B投影)



## 左図矩形内全域時空間分布図 (C-D投影)



## 個別領域の断面図 (A-B投影)



- 今回の地震は2014年11月22日のM6.7の地震の活動域内で発生しており、震源分布の傾斜方向にも一致している。
- 2014年11月22日以降の地震活動は糸魚川-静岡構造線断層帯 (北部) の傾斜方向及び傾斜角に概ね一致している。
- 領域bや領域dをみると、震源分布の傾斜角が4～5km付近から深い側で高角度になっている。